

<日時>

令和元年5月7日（火）13:30～15:30

<出席者>

羽島市教育委員会 学校教育課 三宅良英 特別支援教育係長兼指導主事
学校運営協議会委員 12名（欠席1名）

<内容>

1 委員の委嘱

羽島市教育委員会三宅良英係長より、関委員へ代表して委嘱書を渡す。

2 校長あいさつ

今年度は、1年生が2学級で、全校で1学級増、職員も1名増。児童数は209名。今年度も足近小学校のために、力を貸していただきたい。

3 委員長の決定

規約第10条、第1項にあるように、校長から、関広和委員を推薦。他の委員の賛同により、委員長は、関広和委員に決定。

4 本年度の経営方針と重点についての説明

校長より

10連休中は、大きな事故はなかった。4月は、欠席も少なく、順調なスタートが切れた。

学校の教育目標「なかよく かしこく たくましく」、めざす姿の説明

学校評価に基づいた評価項目の重点

なかよく 力を合わせ、最後まで一生懸命に掃除ができる。

仲間を大切にし、思いやりの心で接することができる。

かしこく 聴く・話す・書く力の向上を意識している。

自分の考えをもち進んで発表している。

たくましく ルールを守って安全な生活に心がけている。

基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん・歯みがき）が身に付いている。

安心な学校 いじめや不登校の未然防止に取り組んでいる。

学校便りやホームページ等による連絡など、開かれた学校である。

地域の方々に支えられていただいているおかげで、子供たちが健全に育っている。

委員 自分で考え行動すること、一步前へ、自己主張することは、今の世の中でとても大切な力である。そのことが含まれていて、よい学校経営方針になっている。

委員 地域の歴史を研究している。地域の子供たちへ伝えていきたい。

5 授業参観

6 意見交流

委員 昔と違って、特別教室が増えた。

委員 コミュニティスクールが3年目となる。学校と地域が協力して子供たちを育てていく。意見があれば、どんどん出していただき、よい方向へ改善していきたい。地域があって、学校が成り立っていく。

委員 地域との交流の場がたくさんある。学校へ地域の方がくること、学校の子供や先生が地域に出て行くこと、両方を行い、お互いに理解しあうことが大切である。

委員 国語辞典が引けない子がある。足近小学校は、少人数の学級も多い。その利点を生かし、学力を付けていくとよい。学習指導要領が新しくなり、英語を学ぶようになったが、ついていけない子がないように教える必要がある。

委員 個人で購入する学用品もあるが、学校で揃えることもよい方法。行動できる子を育てることと同時に、行動できる大人を育てることも重要である。

委員 基礎学力をつけるよう、丁寧な指導が行われている。自分の考えをもって発言する積極的な姿が見られた。

委員 今年度の学校経営の重点が、子供たち一人一人に伝わっている。このことが重要。

委員 保育園を卒業した子が、たくさん声をかけてくれた。うれしいことだ。大型テレビを使用して、映像を映し出している授業があった。分かりやすかった。

委員 廊下に並んでいる靴がきれいに揃っていた。発表の仕方も、1年生から6年生まで同じようにしていた。全校で統一して指導することは、子供たちが分かりやすい。

委員 遊具が少ない。市で購入して欲しいが、高額でなかなか買えない状況である。資源回収も補助金がなくなる。今後ますます小さな学校では高額なものは買えない。

校長より 夏休みのプール開放は、昨年度、猛暑によって、一度も開催できなかった。今年度は開放しない。

三宅係長 子供の数がどんどん減ってきている。これからは、今までどおりの活動ができなくなってくるかもしれない。地域と一緒に、保護者と一緒に行う活動も考えていく必要がある。

本年度の学校経営方針は、子供の姿と照らし合わせて、これでよい。

6 今年度の学校運営協議会の計画について

第2回 7月 4日(木) 14:00～

第3回 2月20日(木) 11:00～

7 閉会の挨拶

関委員長より

意見があったら、どんどん出してもらって、関係のところへできる限り働きかけていきたいと思っているので、よろしく願いしたい。

8 お礼の言葉

校長よりお礼